

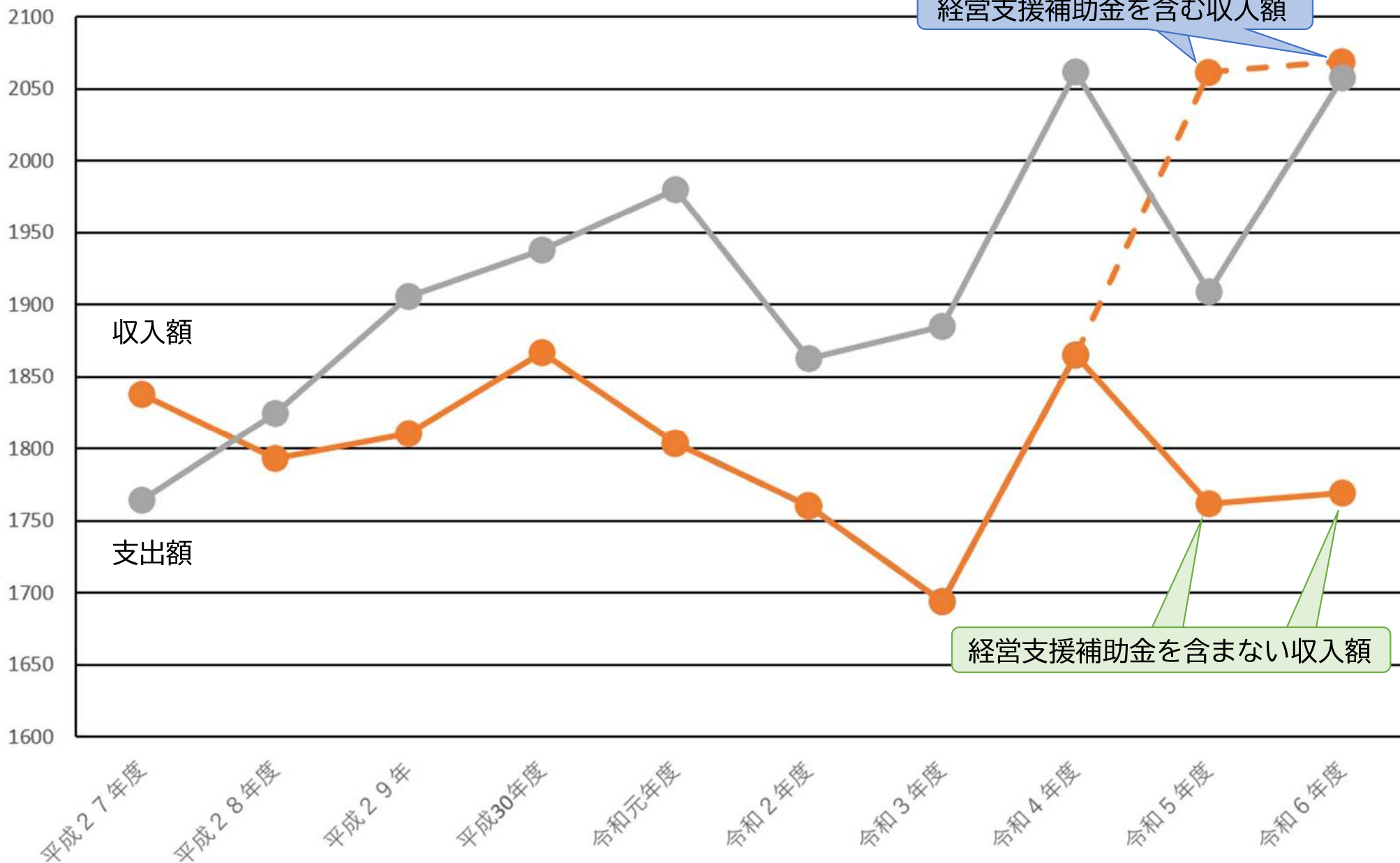
北九州市営バスの 今後の取組

令和7年10月
北九州市交通局

北九州市営バスの収益的収支の状況

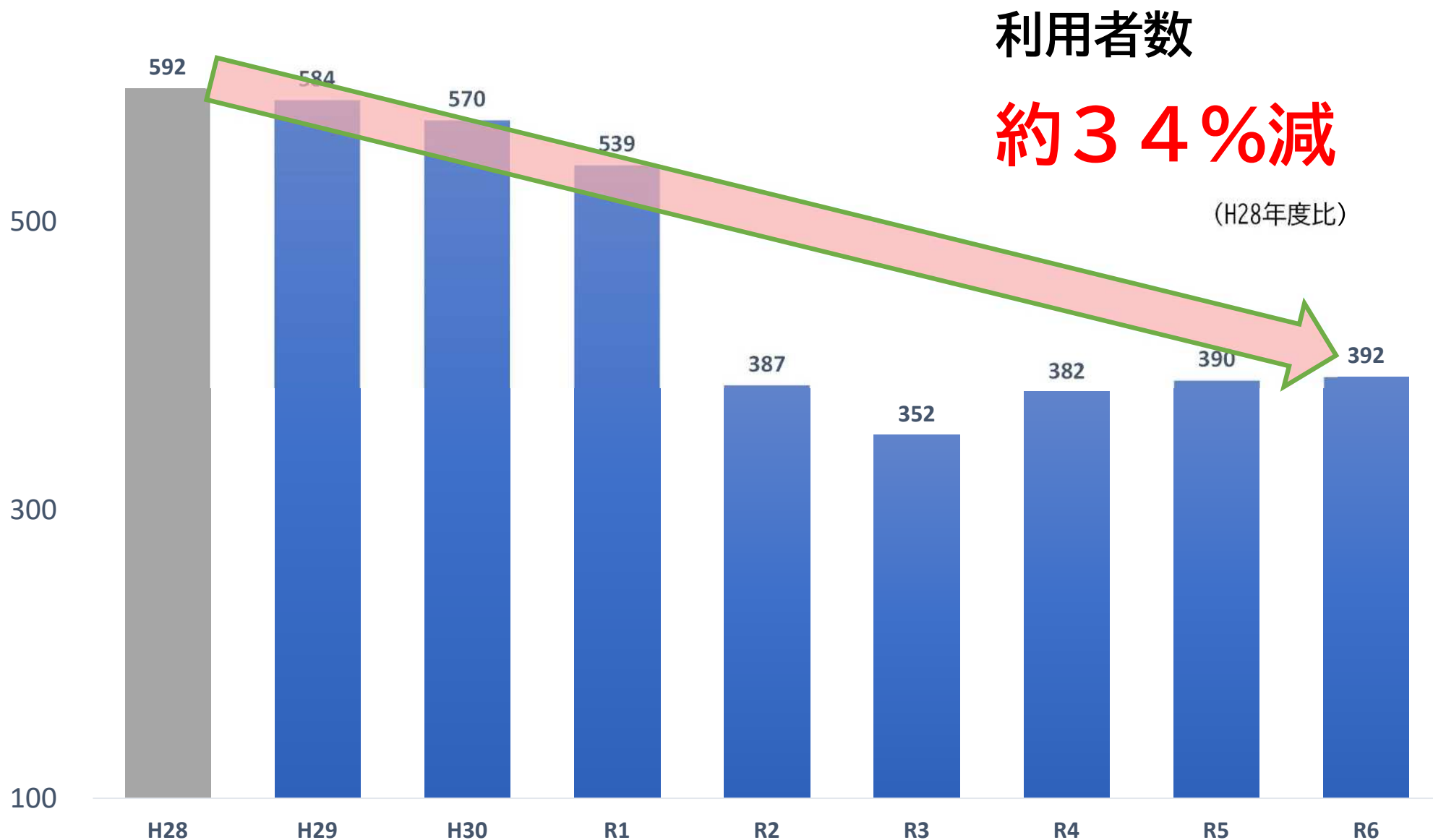
○収入額がコスト増に追いついていない

(百万円、税込み)



市営バスの現状（利用者数の推移）

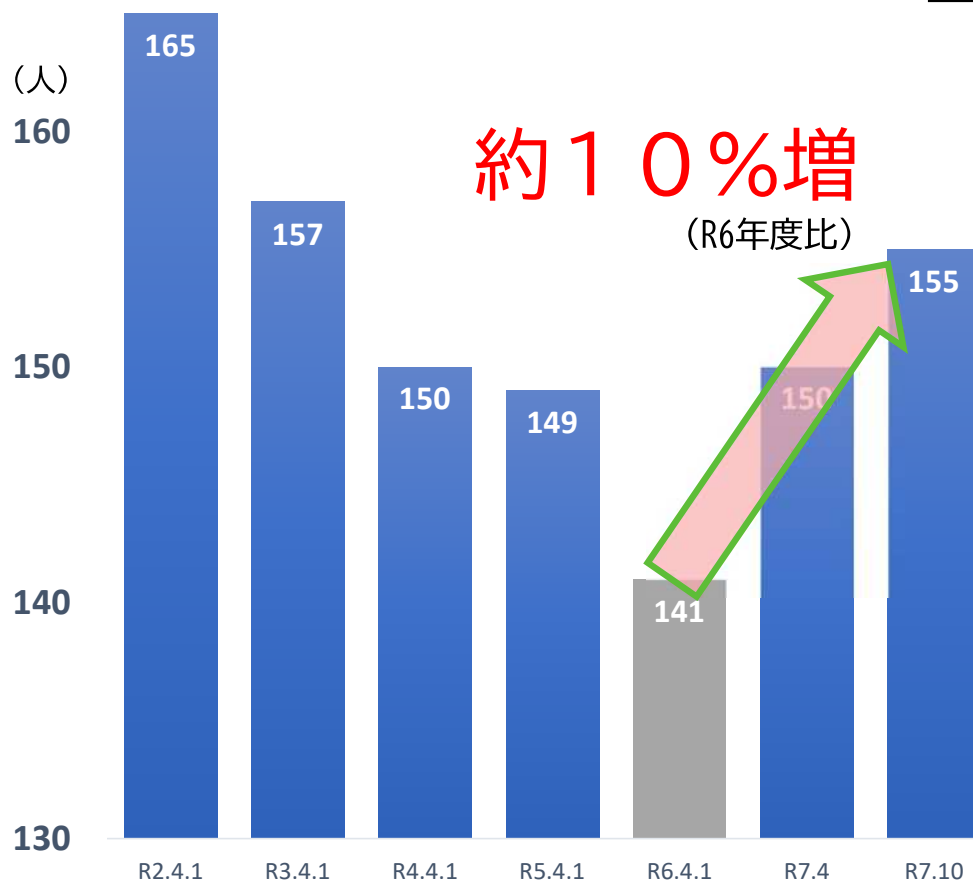
700(万人)



市営バスの現状（運転者の状況）

〔運転者数の推移〕

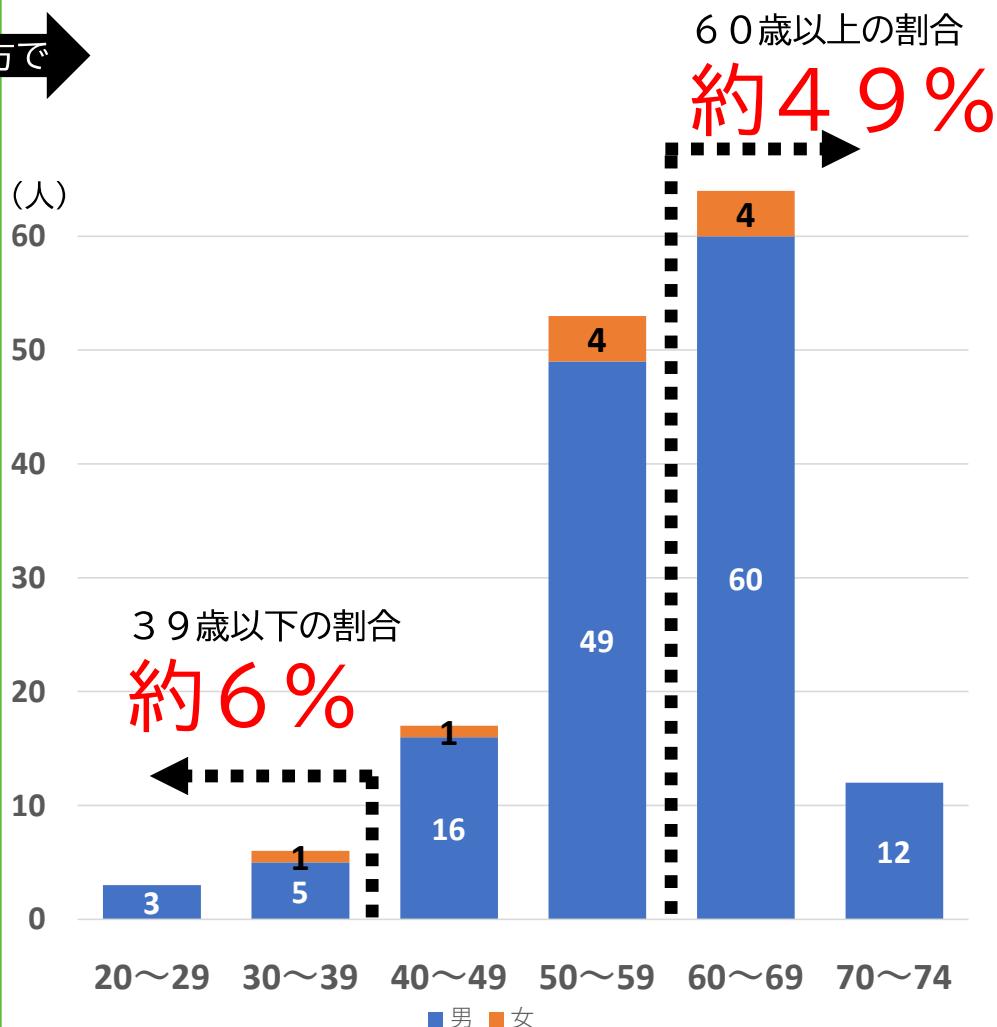
○**運転者数**は、
処遇改善や若者に刺さる募集動画などの
取組みにより「**増加**」



一方で

〔運転者の年齢構成（令和7年10月1日時点）〕

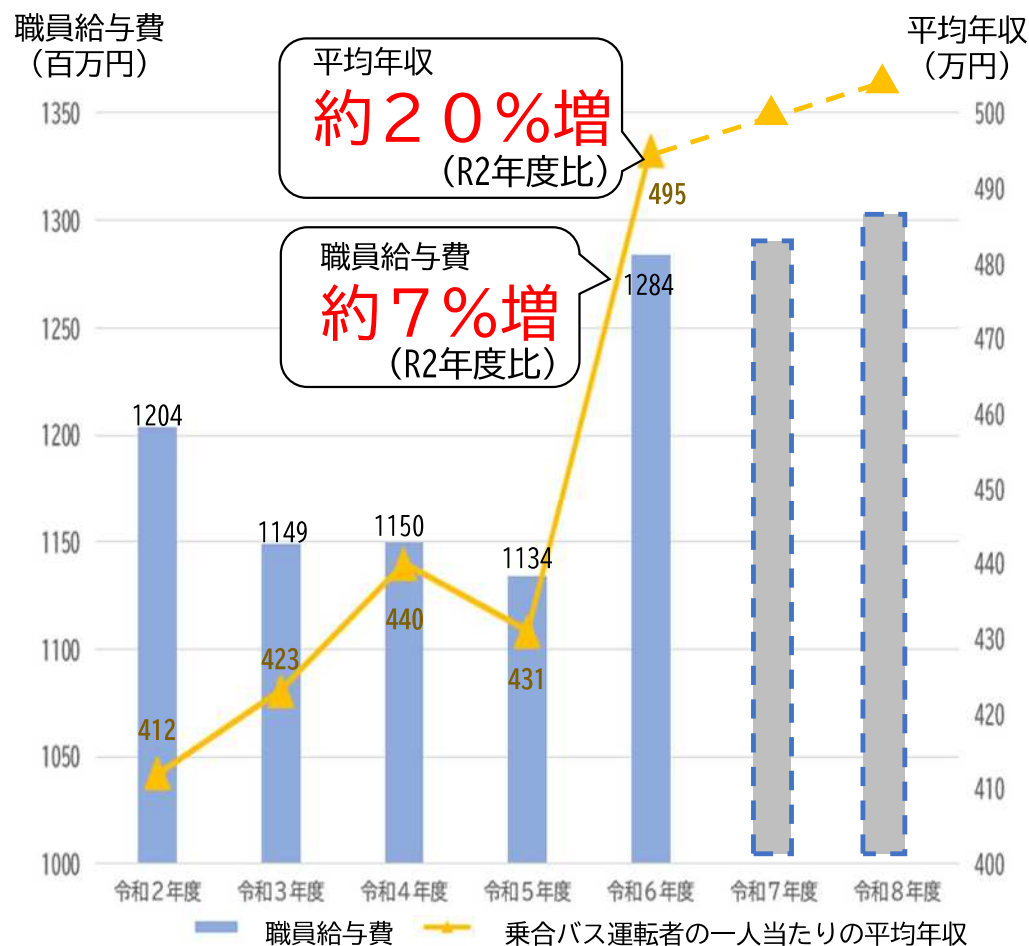
○60歳以上の割合が、約半数を占めている。
○近い将来、大量退職により運転者が不足する
恐れがある。



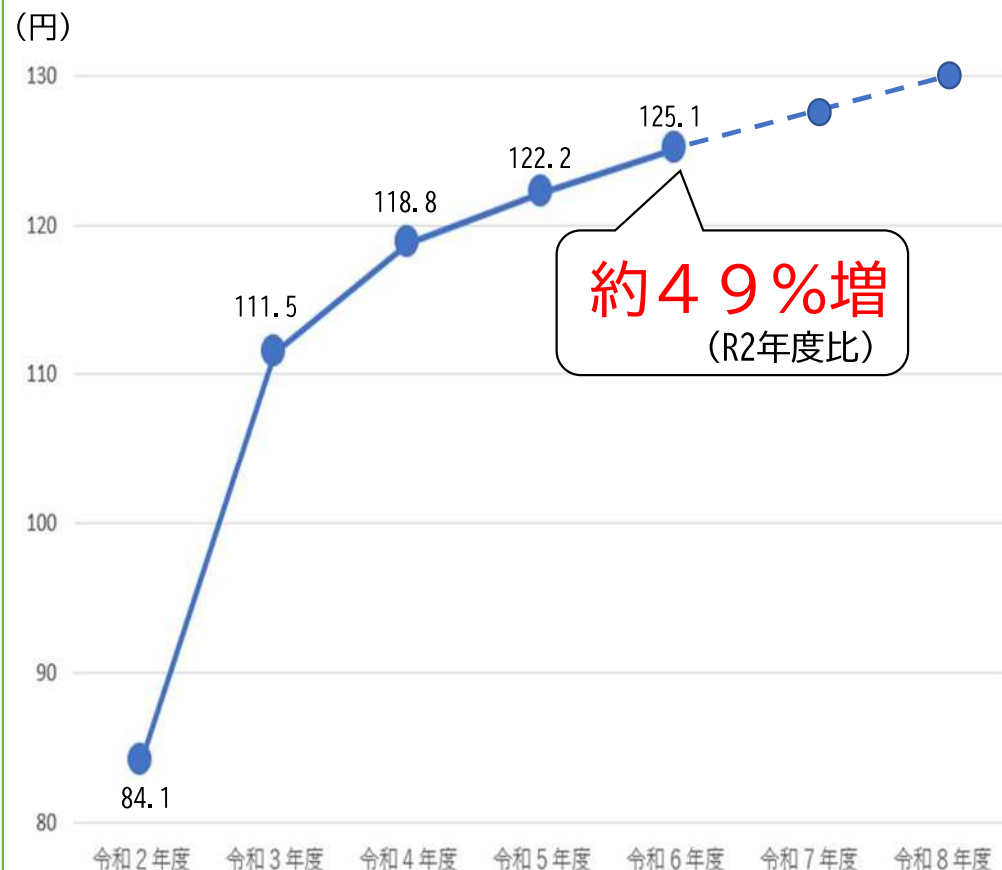
市営バスの現状（人件費、燃料費の状況）

○人件費、燃料費等のコストが増加。今後も増加傾向が続く見込み

〔人件費の推移〕



〔燃料単価の推移（1ℓあたり）〕



これまでの経営改善の取組

市民の皆様と一緒に市営バスを守りたい ⇒ ご利用のお願い

【第1弾】（R6.1～）

① チラシ・ポスターの配布



【第2弾】（R6.9～）

① ラッピングバスの運行・健康動画の発信



【第3弾】（R7.1～）

① 交通局×SNSクリエイティブディレクターで刺さる動画配信

② 市長の車内アナウンスによる発信

運転者がいないとバスを運行できない ⇒ 運転者大募集

① 大型2種免許取得支援制度（最大50万円）（H30.4～）

② ラッピングバスの運行（R3.4～）

③ 初任給や賞与の大幅な引上げ（R6.4～）

④ 若者に刺さる募集動画を発信（R7.1～）



市民の生活の足を守る ⇒ 運転者確保による路線の維持

① 減便の一部解消（R7.4.1～）

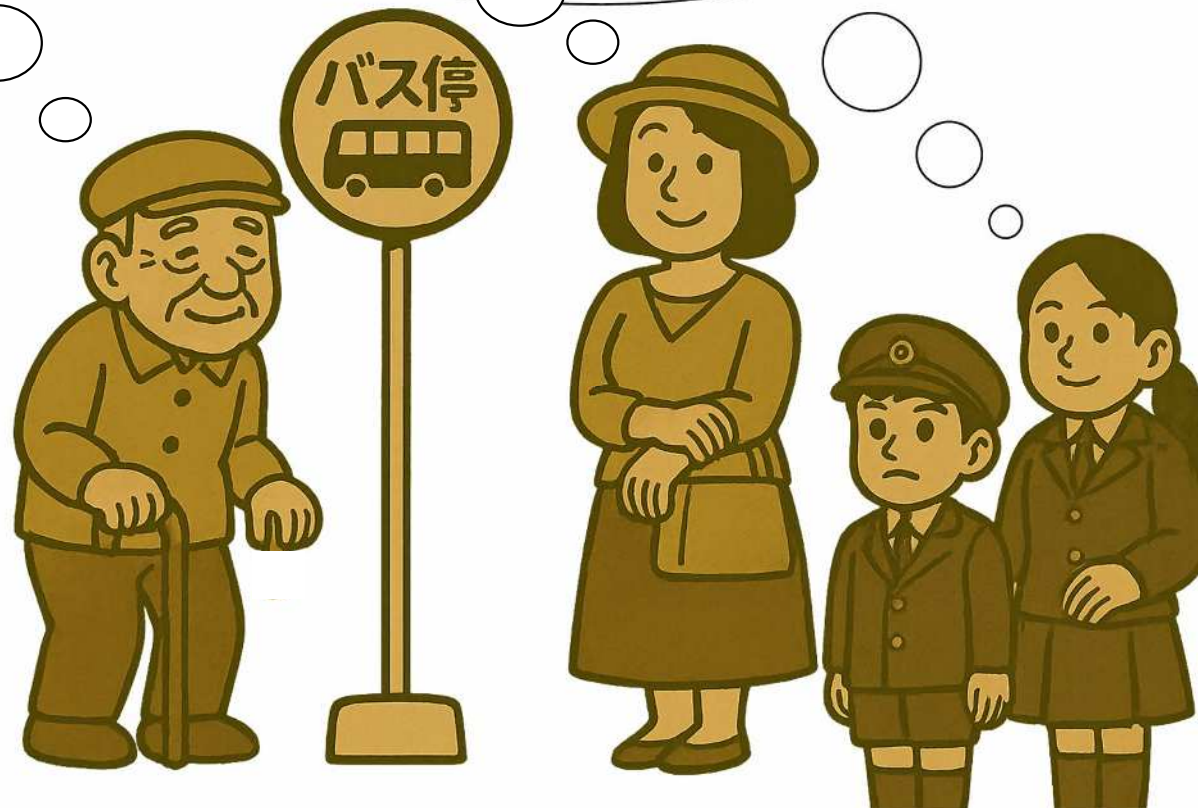
② エコタウン増便（R7.4.7～）

利用者の声

(学術研究都市の)
住宅地からバス停までが遠い。
近くにバス停を作ってもらえないか。

「外に出る、人に会う」
元気がもらえれば最高！

増便してほしい

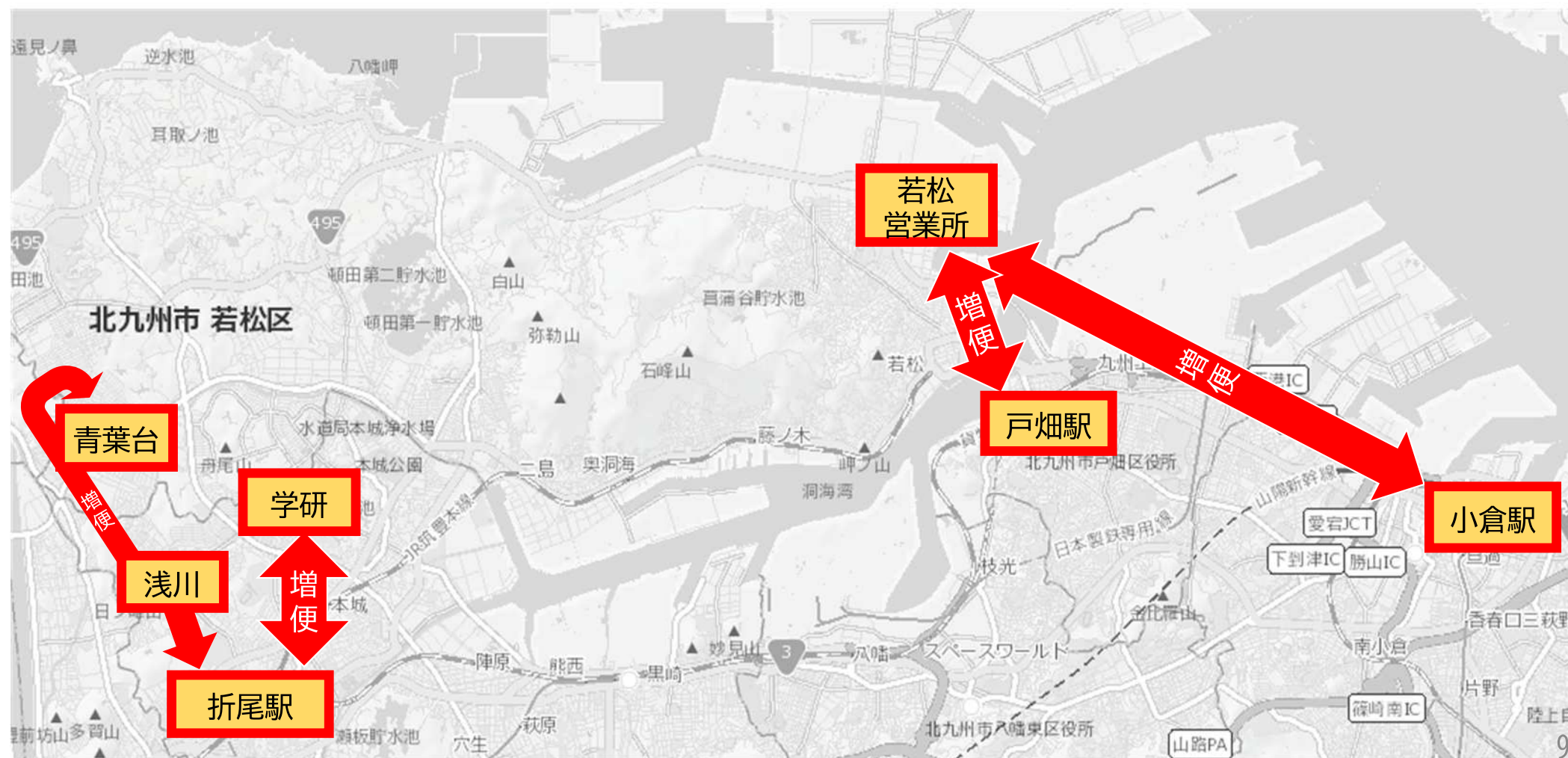


取組の概要

方向性	アクション	内容	実施予定
ニーズ に合わせた 路線の拡充	①増便 (減便の一部解消)	・利用の多い路線を中心に18便の増便 【649便→667便】	令和7年 11月4日
	②学術研究都市の 新規路線と大增便	・「学術研究都市」の住宅地まで延伸 ・「学術研究都市」からの発着便を大增便	令和8年 春
コストに見合う 運賃の適正化	③運賃の適正化	・運賃改定 【初乗運賃：190円→240円】	
もっと 乗ってもらうための サービスの充実	④小・中・高校生運賃の新設 「こどもミライ割」	(土日・祝日・夏休みなど長期休業日) ・小学生無料 ・中・高生100円運賃の新設 【小学生：大人運賃の半額→無料】 【中・高生：大人運賃→100円】	
	⑤高齢者向け定期券の新設 「ふれあい定期70」	・70歳から74歳の高割引定期券の新設 【75歳以上→70歳以上】	

今年度
2回目

増便!! 11/4スタート



令和8年

春

学術研究都市の新規路線と大增便



令和8年

春

運賃の適正化

初乗運賃 : 190円⇒ 240円

1日乗車券 : 700円⇒ 1,000円

運転者確保、コスト増

「公共交通ネットワークを支え続ける」ため
ご理解をお願いします

※運賃改定には九州運輸局の認可、条例の改正が必要です。 11

令和8年
春

こどもミライ割

土日・祝日・夏休みなど長期休業日は

小学生：大人運賃の半額⇒**無料**

中・高校生：大人運賃⇒**100円**



令和8年
春

ふれあい定期70

70歳～74歳の方が対象のフリー定期券を新設

通勤定期（3区）

ふれあい定期70（全線フリー）

3か月 33,720円→**16,000円**

6か月 63,880円→**28,000円**

12か月 127,760円→**48,000円**

※75歳以上の「ふれあい定期」の価格は据え置き

第4次北九州市営バス事業経営計画（素案）

今後のスケジュール（予定）

○令和7年10月28日～11月28日
第4次計画（素案）に対する市民意見
（パブリックコメント）の募集

○令和8年2月
第4次計画策定